

保護者様

横浜市立青木小学校
校長 後明 好美

全国学力・学習状況調査の結果と考察

令和5年4月18日に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の調査結果と考察をお知らせします。

学習の結果「平均正答率（％）」

	国語	算数
青木小	71	69
神奈川県との差	+5	+6
神奈川県	66	63
全国	67.2	62.5

国語 正答率	青木小	県	全国
話すこと・聞くこと	70.1	70.4	72.6
書くこと	31.6	25.6	26.7
読むこと	74.1	70.4	71.2
伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項	74.9	68.5	68.9

算数 正答率	青木小	県	全国
数と数量	73.0	67.1	67.3
図形	57.1	50.0	48.2
測定			
変化と関係	77.6	72.3	70.0
データの活用	70.1	65.2	65.5



全国の結果と比較して結果に特徴のある問題

国語、算数ともにほぼすべての問題が全国平均を上回っていました。その中でも結果に特徴のある問題を抜粋して載せています。

国語 ○全国より大きく上回った問題

- 文章の種類とその特徴について理解している
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる
- 日常よく使われる敬語を理解している

○全国より下回った問題

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる
- 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができる
- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる

算数 ○全国より大きく上回った問題

- 伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができる
- 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる
- 台形の意味や性質について理解している
- 正三角形の意味や性質について理解している
- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる
- 示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できる
- $(2\text{位数}) \div (1\text{位数})$ の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができる
- 百分率で表された割合について理解している
- 二次元の表から、条件に合う数を読み取るすることができる

○全国より下回った問題

- 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができる

◎学習意識の結果

※数値は「はい」「どちらかといえばはい」の合計（単位は％）

	学習調査	青木小 (R5)	県	全国
①	算数の勉強は好きですか	62.1	61.3	61.4
②	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.3	92.7	93.3
③	国語の勉強は好きですか	53.4	61.3	61.5
④	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	86.4	92.8	92.8
⑤	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか	77.7	82.2	83.6
⑥	英語の勉強は好きですか	70.8	69.0	69.3
⑦	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	49.5	54.4	52.5

◎学習意識の考察

「算数の勉強は好きだ」「国語の勉強は好きだ」「英語の勉強は好きだ」と思っている児童は、県・全国平均をすべて上回っている。それに伴って国語、算数についての学力も、ほとんどの分野で、県・全国平均を上回っている。一方、「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」や「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」、「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか」という将来や社会（日常生活）への設問に対して肯定的に答えている児童は、県・全国平均をやや下回っている。このことから、算数や国語の学習は好きだが、学習が日教生活（社会）とつながり、将来役に立つという意識が薄いことが分かる。国語、算数、英語では、日常生活から問題を見つけ、解決できるようにすることで、社会とのつながりや将来を意識できるようにしていきたい。また、青木の時間や道徳の時間などと教科の学習を関連づけたり、オーストラリア交流を経験したりすることで、学ぶことの必要感や学んだことの有用性を児童が実感できるような学習活動になるよう授業改善を図っていきたい。

「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか」では、県・全国平均を下回る結果となった。今後は道徳の授業でも、お互いの意見を交換し合うことで自身の意見が深まるという経験ができるような授業を行っていく。

◎生活意識の結果

※数値は「はい」「どちらかといえばはい」の合計（単位は%）

生活調査		青木小 (R5)	県	全国
①	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用している時間も含む）※2時間以上と回答	48.6	31.7	25.6
②	自分にはよいところがあると思いますか	92.2	83.5	83.5
③	新聞を読んでいますか	20.4	13.2	12.6
④	今住んでいる地域の行事に参加していますか	68.0	53.3	57.8
⑤	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	74.8	76.5	76.8
⑥	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	80.5	76.8	76.5

◎生活意識の考察

- ① 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強をしている（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用している時間も含む）という設問項目に2時間以上と回答した児童は、県・全国平均を大きく上回っている。このことから、多くの観点で県・全国平均を上回った結果につながっていると考えられる。
- ② 自分にはよいところがあると思う児童は、県・全国平均よりも上回っている。生活科・総合、PJ活動等で取り組んできた成果であると考えられる。より自己肯定感を高めていくための授業づくりや、声掛けを意識してさらに高めていく。
- ③ 新聞を読んでいる児童は、県・全国平均を約8ポイント上回っている。新聞にふれる機会が多く、世の中のニュースに興味をもっているということが考えられる。
- ④ ⑤ 今住んでいる地域の行事に参加している児童は、県・全国平均を上回っている。地域への関心が高い児童が多いといえる。「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」では、県・全国をやや下回っている。青木小学校では、以前から青木のまちの風総会や青木の時間等で、地域の方々と関わることを重視してきたが、コロナ渦で十分にできなかったこともあり、意識が低くなったと考えられる。少しずつ地域と関わる活動が再開してきているので、今後は地域とのつながりを持ち、社会の一員として自分も地域や社会のために何かしてみたいと思えるようにしていく。
- ⑥ 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」では、県・全国平均を8ポイント程度上回っている。青木の時間等を通して、自分と違う考えがあることに気づき、話し合いを通して意見の違いを乗り越えて、よりよい考えを見つけ出す経験などを行っている成果ではないかと考えられる。引き続き一人ひとりの個性を伸ばし、安心して意見を伝えたり、違う考えを認め合ったりできる学級づくりを学校全体で目指していく。